

JPCOAR スキーマガイドライン(案)

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
機関リポジトリ推進委員会
メタデータ検討タスクフォース

平成 29 年 3 月

要素	属性	説明
1 タイトル <ul style="list-style-type: none"> ・定義 : dc:title ・記入レベル : M ・繰返回数 : 1-N 	xml:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。 ・コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入すること。 ・タイトルの言語情報は lang に記入すること。 ・副タイトルがある場合は、△:△(半角スペースとコロン)で区切って記入すること。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル情報が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入すること。ただし、各言語コードの dc:title の出現回数は 1 回までとする。 ・優先度の高い言語表記の順に記入すること。 ・日本語のヨミを記述する場合は lang に“ja-Kana”を指定すること。その場合、ヨミとは別に lang を“ja”にしたタイトル情報を必ず記入すること。

記入例
<pre><dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想：データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title></pre> <pre><dc:title xml:lang="ja-Kana">ジョウホウ バクハツ シダイ ノ ケンキュウ キバン コウソウ：データ マイニング ジセダイ サーチ ナド ノ ケンキュウ</dc:title></pre> <pre><dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title></pre>
非推奨例
<ul style="list-style-type: none"> ・xml:lang の指定がない記入は推奨しない。 <pre><dc:title>情報爆発時代の研究基盤構想：データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title></pre> ・複数言語の並列表記は推奨しない。 <pre><dc:title xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想：データマイニング、次世代サーチなどの研究 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title></pre> ・掲載誌名を含めることは推奨しない。掲載誌名は <i>bibo:journal</i> を使用する。 <pre><dc:title xml:lang="ja">NII の概要(日本病院会雑誌)</dc:title></pre>

・同一言語指定の要素を繰り返してはならない。

<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title>

<dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>

要素	属性	説明
2 その他のタイトル ・定義： dcterms:alternative ・記入レベル：D ・繰返回数：0	xml:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・junii2 下位互換用の要素。 ○注意点 ・原則記入しないこと。 ・タイトルの別言語表記は <i>dc:title</i> に <i>lang</i> を指定して記入すること。

要素	属性	説明				
3 作成者 ・定義：jpcoar:creator ・記入レベル：MA ・繰返回数：0-N		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。 ○注意点 ・学位論文の場合は必ず入力すること。 ・複数の著者が存在する場合は、第一著者から順に記入すること。 				
3.1 作成者識別子 ・定義： jpcoar:nameIdentifier ・記入レベル：MA ・繰返回数：0-N	nameIdentifierScheme	<ul style="list-style-type: none"> ・作成者を一意に識別する ID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する。 例：0000-0001-0003-0004 (ORCID)、1000030413925 (e-Rad)、0000000378057894 (ISNI) ・<i>nameIdentifierScheme</i> には ID を識別するスキーマ名を以下の語彙から選択する。 <table border="1" data-bbox="797 1281 2072 1337"> <tr> <td>- e-Rad</td> <td>- ORCID</td> <td>- ISNI</td> <td>- VIAF</td> </tr> </table>	- e-Rad	- ORCID	- ISNI	- VIAF
- e-Rad	- ORCID	- ISNI	- VIAF			
	schemeURI	<ul style="list-style-type: none"> ・<i>schemeURI</i> には ID の値を HTTP URI 形式で記入する。 例：https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 				

		<p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<i>jpcoar:nameIdentifier</i> の値は接頭辞等の情報を付けず、ID のみを記入すること。 ・<i>jpcoar:nameIdentifier</i> を記入する場合、必ず <i>nameIdentifierScheme</i> にスキーマ名を指定すること。 ・<i>jpcoar:nameIdentifier</i> を複数記入する場合、優先度の高い ID スキーマ順に記入すること。 ・識別子が URI を持たない場合は、<i>schemeURI</i> は指定しなくてもよい。
<p>3.2 作成者姓名</p> <p>・定義: <i>jpcoar:creatorName</i></p> <p>・記入レベル:MA</p> <p>・繰返回数:0-N</p>	<p>xml:lang</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作成者の姓名を記入する。 ・個人名の姓名の区切りは「姓,△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記のファーストネームが不明な場合は頭文字でもよい。 ・団体名等で組織階層がある場合は上位から下位の順に記入する。 ・本文が日本語の場合、<i>lang</i> に”ja”を指定して日本語で、本文が欧文ならば <i>lang</i> に“en”を指定してアルファベットで記入する。日本語のヨミを記入する場合は <i>lang</i> に“ja-Kana”を指定する。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各言語コードの <i>jpcoar:creatorName</i> の出現回数は 1 回までとする。 ・肩書きや役割、補記は記入しない。 ・監修者や指導者のような間接的な役割の者は <i>jpcoar:contributor</i> を使用する。 ・出版社は <i>dc:publisher</i> を使用する。
<p>3.3 作成者姓</p> <p>・定義: <i>jpcoar:familyName</i></p> <p>・記入レベル:O</p> <p>・繰返回数:0-1</p>	<p>xml:lang</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作成者の姓を記入する。 ・作成者が個人の場合、記入することを推奨する。 ・ミドルネームがある場合は、「姓△ミドルネーム」と記入する。 ・本文が日本語の場合、<i>lang</i> に“ja”を指定して日本語で、本文が欧文ならば <i>lang</i> に“en”を指定してアルファベットで記入する。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語のヨミは記入しない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・団体名は記入しない。 				
<p>3.4 作成者名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:givenName ・記入レベル: O ・繰返回数: 0-1 	xml:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・作成者の名を記入する。 ・作成者が個人の場合、記入することを推奨する。 ・本文が日本語の場合、lang に“ja”を指定して日本語で、本文が欧文ならば lang に“en”を指定してアルファベットで記入する。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語のヨミは記入しない。 ・団体名は記入しない。 				
<p>3.5 作成者別名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:creatorAlternative ・記入レベル: O ・繰返回数: 0-N 	xml:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・作成者に別名がある場合、その姓名記入する。 ・記述方法及び注意点は 3.2 作成者姓名に準じる。 				
<p>3.6 作成者所属</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:affiliation ・記入レベル: R ・繰返回数: 0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・作成者の所属する機関名。 				
<p>3.6.1 所属機関識別子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:nameIdentifier ・記入レベル: R 	nameIdentifierScheme	<ul style="list-style-type: none"> ・所属機関を一意に識別する ID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する。 例: 000000012192178X (ISNI)、12601 (科研機関 ID) ・nameIdentifierScheme には ID を識別するスキーマ名を以下の語彙から選択する。 <table border="1" data-bbox="797 1347 2074 1402"> <tr> <td>- kakenhi</td> <td>- ISNI</td> <td>- Ringgold</td> <td>- GRID</td> </tr> </table>	- kakenhi	- ISNI	- Ringgold	- GRID
- kakenhi	- ISNI	- Ringgold	- GRID			

<p>・繰返回数:0-N</p>	<p>schemeURI</p>	<p>・<i>schemeURI</i>には ID の値を HTTP URI 形式で記入する。 例: <code>http://isni.org/isni/000000012148628X</code></p> <p>・識別子が URI を持たない場合は、<i>schemeURI</i>は指定しなくてもよい</p> <p>○注意点</p> <p>・<i>jpcoar:nameIdentifier</i>の値は接頭辞等の情報を付けず、ID のみを記入すること。</p> <p>・<i>jpcoar:nameIdentifier</i>を記入する場合、必ず <i>nameIdentifierScheme</i> にスキーマ名を指定すること。</p> <p>・<i>jpcoar:nameIdentifier</i>を複数記入する場合、優先度の高い ID スキーマ順に記入すること。</p>
<p>3.6.2 所属機関名</p> <p>・定義: <code>jpcoar:affiliationName</code></p> <p>・記入レベル:R</p> <p>・繰返回数:0-N</p>	<p>xml:lang</p>	<p>・所属機関の名称を記入する。</p> <p>・組織階層がある場合は上位から下位の順に記入する。本文が日本語ならば <i>lang</i> に“ja”を指定して日本語表記、欧文ならば <i>lang</i> に“en”を指定してアルファベット表記とする。</p> <p>○注意点</p> <p>・略称ではなく、正式名称を記入すること。</p>

記入例
<pre> <jpcoar:creator> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" schemeURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目, 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> </pre>

<pre> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" schemeURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:creator> </pre>
非推奨例
<p>○ <i>jpcoar:nameIdentifier</i> の値に URL を記入しないこと。</p> <pre> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="orcid" schemeURI="https://orcid.org/0000-0002-3276-3753">https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier> </pre> <p>○ <i>lang</i> の指定がない記入は推奨しない。</p> <pre> <creatorName>夏目, 漱石</creatorName> </pre>

要素	属性	説明																
4 寄与者 ・定義: jpcoar:contributor ・記入レベル: R ・繰返回数: 0-N	contributorType	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツの作成に間接的に関わりを持つ個人または団体等。 <i>contributorType</i> は以下の語彙の中から適切な役割を選択する。該当する役割がない場合は、“other”を選択すること。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">- ContactPerson</td> <td style="text-align: center;">- Editor</td> <td style="text-align: center;">- ProjectMember</td> <td style="text-align: center;">- ResearchGroup</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">- DataCollector</td> <td style="text-align: center;">- HostingInstitution</td> <td style="text-align: center;">- RegistrationAgency</td> <td style="text-align: center;">- Sponsor</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">- Data Curator</td> <td style="text-align: center;">- Producer</td> <td style="text-align: center;">- RegistrationAuthority</td> <td style="text-align: center;">- Supervisor</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">- Data Manager</td> <td style="text-align: center;">- ProjectLeader</td> <td style="text-align: center;">- RelatedPerson</td> <td style="text-align: center;">- WorkPackageLeader</td> </tr> </table>	- ContactPerson	- Editor	- ProjectMember	- ResearchGroup	- DataCollector	- HostingInstitution	- RegistrationAgency	- Sponsor	- Data Curator	- Producer	- RegistrationAuthority	- Supervisor	- Data Manager	- ProjectLeader	- RelatedPerson	- WorkPackageLeader
- ContactPerson	- Editor	- ProjectMember	- ResearchGroup															
- DataCollector	- HostingInstitution	- RegistrationAgency	- Sponsor															
- Data Curator	- Producer	- RegistrationAuthority	- Supervisor															
- Data Manager	- ProjectLeader	- RelatedPerson	- WorkPackageLeader															

		- Distributor	- ProjectManager	- Researcher	- other
4.1 寄与者識別子 ・定義:jpcoar:nameIdentifier ・記入レベル:MA ・繰回数:0-N	nameIdentifierScheme	・寄与者を一意に識別する ID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する。 例:0000-0001-0002-0003 (ORCID)、1000012345678 (e-Rad)、0000000123456789 (ISNI) ・ <i>nameIdentifierScheme</i> には ID を識別するスキーマ名を以下の語彙から選択する。			
		- e-Rad	- ORCID	- ISNI	- VIAF
	schemeURI	・ <i>schemeURI</i> には ID の値を HTTP URI 形式で記入する。 例:https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 ○注意点 ・ <i>jpcoar:nameIdentifier</i> の値は接頭辞等の情報を付けず、ID のみを記入すること。 ・ <i>jpcoar:nameIdentifier</i> を記入する場合、必ず <i>nameIdentifierScheme</i> にスキーマ名を指定すること。 ・ <i>jpcoar:nameIdentifier</i> を複数記入する場合、優先度の高い ID スキーマ順に記入すること。 ・識別子が URI を持たない場合は、 <i>schemeURI</i> は指定しなくてもよい。			
4.2 寄与者姓名 ・定義: jpcoar:contributorName ・記入レベル:R ・繰回数:0-N	xml:lang	・寄与者の姓名を記入する。 ・個人名の姓名の区切りは「姓,△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記のファーストネームが分からない場合は頭文字でもよい。 ・団体名等で組織階層がある場合は上位から下位の順に記入する。 ・本文が日本語の場合、 <i>lang</i> に“ja”を指定して日本語で、本文が欧文ならば <i>lang</i> に“en”を指定してアルファベットで記入する。日本語のヨミを記入する場合は <i>lang</i> に“ja-Kana”を指定する。 ○注意点 ・各言語コードの <i>jpcoar:contributorName</i> の出現回数は 1 回までとする。 ・肩書きや役割、補記は記入しない。 ・著者や翻訳者等のような直接的な役割の者は 3. 作成者を参照すること。			

		<ul style="list-style-type: none"> ・出版社は 11. 出版社を参照すること。
<p>4.3 寄与者姓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:familyName ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 	xml:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・寄与者の姓を記入する。 ・寄与者が個人の場合、記入することを推奨する。 ・ミドルネームがある場合は、「姓△ミドルネーム」と記入する。 ・本文が日本語の場合、<i>lang</i> に“ja”を指定して日本語で、本文が欧文ならば <i>lang</i> に“en”を指定してアルファベットで 記入する。 ○注意点 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語のヨミは記入しない。 ・団体名は記入しない。
<p>4.4 寄与者名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:givenName ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 	xm:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・寄与者の名を記入する。 ・寄与者が個人の場合、記入することを推奨する。 ・本文が日本語の場合、<i>lang</i> に”ja”を指定して日本語で、本文が欧文ならば <i>lang</i> に”en”を指定してアルファベットで記入する。 ○注意点 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語のヨミは記入しない。 ・団体名は記入しない。
<p>4.5 寄与者別名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:contributorAlternative ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-N 	xm:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・寄与者に別名がある場合、その姓名を記入する。 ・記述方法及び注意点は 4.2 寄与者姓名に準じる。
<p>4.6 寄与者所属</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・寄与者の所属する機関。

<ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:affiliation ・記入レベル:R ・繰回数:0-N 						
<p>4.6.1 所属機関識別子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:nameIdentifier ・記入レベル:R ・繰回数:0-N 	<p>nameIdentifierScheme</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所属機関を一意に識別する ID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する。 例:000000012192178X (ISNI)、12601 (科研機関 ID) ・<i>nameIdentifierScheme</i> には ID を識別するスキーマ名を以下の語彙から選択する。 <table border="1" data-bbox="815 475 2096 533"> <tr> <td>- kakenhi</td> <td>- ISNI</td> <td>- Ringgold</td> <td>- GRID</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・<i>schemeURI</i> には ID の値を HTTP URI 形式で記入する。 例:https://www.grid.ac/institutes/grid.26999.3d ・ID が URI を持たない場合は、<i>schemeURI</i> は指定しなくてもよい ○注意点 ・<i>jpcoar:nameIdentifier</i> の値は接頭辞等の情報を付けず、ID のみを記入すること。 ・<i>jpcoar:nameIdentifier</i> を記入する場合、必ず <i>nameIdentifierScheme</i> にスキーマ名を指定すること。 ・<i>jpcoar:nameIdentifier</i> を複数記入する場合、優先度の高い ID スキーマ順に記入すること。 	- kakenhi	- ISNI	- Ringgold	- GRID
- kakenhi	- ISNI	- Ringgold	- GRID			
<p>4.6.2 所属機関名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:affiliationName ・記入レベル:R ・繰回数:0-N 	<p>xml:lang</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所属機関の名称を記入する。 ・組織階層がある場合は上位から下位の順に記入する。本文が日本語ならば xml:lang に“ja”を指定して日本語表記、欧文ならば xml:lang に“en”を指定してアルファベット表記とする。 ○注意点 ・略称ではなく、正式名称を記入すること。 				

<p>記入例</p>
<pre> <jpcoar:contributor contributorType="Editor"> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" schemeURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> </pre>

<pre> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">12601</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:contributor> </pre>
非推奨例
<p>○ <i>nameIdentifier</i> の値に URL を記入しないこと。</p> <pre> <jpcoar:nameIdentifier>https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier> </pre> <p>○ <i>xml:lang</i> の指定がない記入は推奨しない。</p> <pre> <jpcoar:contributorName>山田, 一郎</jpcoar:contributorName> </pre>

要素	属性	説明				
5 アクセスレベル ・定義: jpcoar:accessRights ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1		<ul style="list-style-type: none"> コンテンツのアクセス状態を記入する。 以下の語彙から選択する。 <table border="1"> <tr> <td>- closedAccess: 非公開</td> <td>- restrictedAccess: アクセス制限有</td> </tr> <tr> <td>- embargoedAccess: エンバーゴ有</td> <td>- openAccess: オープンアクセス</td> </tr> </table> <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツのライセンスに関する情報は 7. 権利情報を参照すること。 	- closedAccess: 非公開	- restrictedAccess: アクセス制限有	- embargoedAccess: エンバーゴ有	- openAccess: オープンアクセス
- closedAccess: 非公開	- restrictedAccess: アクセス制限有					
- embargoedAccess: エンバーゴ有	- openAccess: オープンアクセス					

		・「embargoedAccess」の場合は、12. 日付の <i>dateType</i> に“Available”を指定し、利用開始日を記入すること。
--	--	-------------------------------------------------------------------------------

記入例		
<pre><jpcoar:accessRights>openAccess</jpcoar:accessRights></pre>		

要素	属性	説明						
6 APC ・定義:rioxterms:apc ・記入レベル:O ・繰回数:0-1		・コンテンツに関連する APC の状態。 ・以下の語彙から選択する。 <table border="1" data-bbox="728 590 1899 721"> <tr> <td>-Paid: 支払済み</td> <td>-Fully waived: 全て免除</td> <td>-Not required: 不要</td> </tr> <tr> <td>-Partially waived: 一部免除</td> <td>-Not charged: 無料</td> <td>-Unknown: 不明</td> </tr> </table> ○注意点 ・APC の価格は記入しない	-Paid: 支払済み	-Fully waived: 全て免除	-Not required: 不要	-Partially waived: 一部免除	-Not charged: 無料	-Unknown: 不明
-Paid: 支払済み	-Fully waived: 全て免除	-Not required: 不要						
-Partially waived: 一部免除	-Not charged: 無料	-Unknown: 不明						

記入例		
<pre><rioxterms:apc>Paid</rioxterms:apc></pre>		
非推奨例		
○APC の価格は記入しない <pre><rioxterms:apc>\$3,000</rioxterms:apc></pre>		

要素	属性	説明
7 権利情報 ・定義:dc:rights ・記入レベル:R	xml:lang rdf:resource	・コンテンツの利用に関する権利情報を記入する。知的所有権や著作権等に関する情報を含む。 ・ライセンス情報を記入する際にはライセンスの正式名とバージョン情報を記入すること。 例:Creative Commons Attribution 4.0 International

<p>・繰回数:0-N</p>		<p>・その他の場合は、自由記述とするが、出版社等の権利者からの指定がある場合は、その支持に従うこと。</p> <p>・ライセンスに URI がある場合、<i>resource</i> に HTTP URI 形式で記入し、再利用の条件を明示することを推奨する。</p> <p>例:https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en</p> <p>○注意点</p> <p>ライセンス情報は短縮形で記入しない。</p>
-----------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

記入例	
<p>○クリエイティブコモンズの記入例</p>	<p><dc:rights rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights></p>
<p>○コピーライトの記入例</p>	<p><dc:rights>Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights></p>
<p>○権利者からの指定の例</p>	<p><dc:rights>(c) ACM 2016. This is the author's version of the work. It is posted here for your personal use. Not for redistribution. The definitive Version of Record was published in http://doi.org/10.1145/123456789</dc:rights></p>
非推奨例	
<p>○ライセンス情報を短縮形で記入しない。</p>	<p><dc:rights rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">CC BY 4.0</dc:rights></p>
<p>○ライセンス情報の URI がある場合、記入することを推奨する。</p>	<p><dc:rights>Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights></p>
<p>○異なるライセンス情報を 1 要素にまとめて記入しない。</p>	<p><dc:rights>CC BY 4.0 / Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights></p>

要素	属性	説明
8 権利者情報		作成者および寄与者以外の著作権等の権利保持情報を記入する。

</jpcoar:rightsHolder>

要素	属性	説明												
9 主題 ・定義:jpcoar:subject ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-N	xml:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの内容を表す件名、著者キーワード、分類を記入する。 ・統制語ではない著者キーワードは、△;△(半角空白とセミコロン)で区切って一つの要素に記入する。 ・件名、分類等の統制語で複数語付与する場合は要素を繰り返すこと。 ・分類はコードのみを記入する。 												
	subjectScheme	<ul style="list-style-type: none"> ・値に対応した言語コードを、langに指定すること。日本語の場合は“ja”、英語の場合は“en”、日本語のヨミを記入する場合は、langに“ja-Kana”を指定する。 ・subjectSchemeは以下の語彙を使用する。 <table border="1" data-bbox="801 675 1753 842"> <tr> <td>- BSH</td> <td>- LCSH</td> <td>- NDLC</td> <td>- other</td> </tr> <tr> <td>- DDC</td> <td>- MeSH</td> <td>- NDLSH</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- LCC</td> <td>- NDC</td> <td>- UDC</td> <td></td> </tr> </table>	- BSH	- LCSH	- NDLC	- other	- DDC	- MeSH	- NDLSH		- LCC	- NDC	- UDC	
	- BSH	- LCSH	- NDLC	- other										
- DDC	- MeSH	- NDLSH												
- LCC	- NDC	- UDC												
schemeURI	<ul style="list-style-type: none"> ・schemeURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、schemeURIは指定しない。 例:https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00575529 ○注意点 ・分類の項目名は記入しない。 ・著者キーワードの場合 subjectSchemeは”other”を指定する。 													

記入例

○著者キーワードの例
 <jpcoar:subject xml:lang="ja">情報化社会 ; コンピュータ</jpcoar:subject>

○ヨミ記入の例
 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana">ジョウホウカシャカイ</jpcoar:subject>

○分類コードの例

<jpcoar:subject subjectScheme="NDC9">007</jpcoar:subject>

○件名の例

<jpcoar:subjectsubjectScheme="NDLSH" schemeURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/01009109">社会情報学</jpcoar:subject>

要素	属性	説明					
10 内容記述 ・定義: datacite:description ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-N	descriptionType	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの内容を示す情報を記述する。 ・論文においては抄録を記入する。 ・会議発表論文においては、会議名、開催地、日時等。 ・データについては、その他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。技術的な情報を記述する際に利用する。 ・<i>descriptionType</i> は以下の語彙から選択する。 					
	xml:lang	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>- abstract</td> <td>- tableOfContents</td> <td>- other</td> </tr> <tr> <td>- methods</td> <td>- technicalInfo</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・論文の場合は原則“abstract”を選択すること。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「description.provenance」等のシステム内部用メタデータを出力しない。 ・<i>datacite:description</i> を利用する場合、必ず <i>descriptionType</i> を指定すること。 	- abstract	- tableOfContents	- other	- methods	- technicalInfo
- abstract	- tableOfContents	- other					
- methods	- technicalInfo						

記入例

<datacite:description descriptionType="abstract">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloud は、いまや JAIRO Cloud を抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、この JAIRO Cloud について、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloud のシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloud の特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</datacite:description>

非推奨例
<p>○ <i>descriptionType</i> を記入しない</p> <p><datacite:description>国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloud は、いまや JAIRO Cloud を抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、この JAIRO Cloud について、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloud のシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloud の特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</p> <p></datacite:description></p>

※ 記入例及び非推奨例は以下の要旨を使用

前田 朗, 加藤 寛士, 高橋 菜奈子, 山地 一禎. システム基盤としての JAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.

要素	属性	説明
11 出版社 ・定義: dc:publisher ・記入レベル: MA ・繰返回数: 0-N	xml:lang	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ本体を公開した主体を記入する。 ・名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。 ・団体名等について、階層がある場合は上位から下位の順に記入する。 ・個人名については「姓,△名」とする。肩書きは記入しない。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・略称ではなく正式名称を記入する。 ・作成者等の所属する組織には <i>jpcoar:affiliation</i> を使用すること。 ・役割等の補助的な情報は記入しない。

記入例
<dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher>
<dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>
非推奨例
○出版地は記入しない。

<dc:publisher>東京</dc:publisher>

○印刷者や製本者は記入しない。

<dc:publisher>岡倉印刷</dc:publisher>

○機関の変遷前名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。

<dc:publisher xml:lang="ja">日本建築学会</dc:publisher>

<dc:publisher xml:lang="ja">建築学会</dc:publisher>

要素	属性	説明										
12 日付 ・定義: datacite:date ・記入レベル: MA ・繰返回数: 1-N	dateType	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツに関連する日付を記入する。 日付は ISO-8601 で規定する次の 3 形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。 必ず <i>dateType</i> に以下の統制語から選択し指定すること。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>- Accepted</td> <td>- Collected</td> <td>- Created</td> <td>- Submitted</td> <td>- Valid</td> </tr> <tr> <td>- Available</td> <td>- Copyrighted</td> <td>- Issued</td> <td>- Updated</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○注意点 ・Issued (公開日) の記入は必須。 ・その他の日付は関連する情報があれば必ず記入すること。 ・5. アクセスレベルで “embargoedAccess” を指定した場合、<i>dateType</i> に “Available” を指定し、利用開始日を記入すること。 	- Accepted	- Collected	- Created	- Submitted	- Valid	- Available	- Copyrighted	- Issued	- Updated	
- Accepted	- Collected	- Created	- Submitted	- Valid								
- Available	- Copyrighted	- Issued	- Updated									

記入日

○公開日

<datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date>

○エンバーゴ終了後の利用開始日

<p><datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date></p>
<p>非推奨例</p>
<p>○dateType を省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date></p> <p>○不明な年を記入してはならない。 <datacite:date dateType="Issued">19--</datacite:date></p>

要素	属性	説明
<p>13 言語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: dc:language ・記入レベル: R ・繰返回数: 0-N 		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。 ・ISO-639-3 言語コードで記入すること。ISO-639-3 のマクロランゲージの利用は任意とする。 ○注意点 <ul style="list-style-type: none"> ・言語名を記入しないこと。 ・国コードを記入しないこと。 ・優先度の高い言語の順に記入すること。

<p>記入例</p> <p>○コンテンツ本文が英語 <dc:language>eng</dc:language></p> <p>○コンテンツ本文が英語と日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:language>jpn</dc:language></p>
<p>非推奨例</p>

○ISO 639-1 は推奨しない。

<dc:language>ja</dc:language>

○1 要素に複数の言語を記入しない。

<dc:language>engjpn</dc:language>

○大文字や全角文字を使用しない。

<dc:language>JPN</dc:language>

<dc:language>eng</dc:language>

○言語名を記入しない。

<dc:language>日本語</dc:language>

○国名を記入しない。

<dc:language>US</dc:language>

○UTF-8 ロケールを記入しない。

<dc:language>en_US</dc:language>

要素	属性	説明																				
14 資源タイプ <ul style="list-style-type: none"> ・定義:coar:resourceType ・記入レベル:M ・繰返回数:1 	rdf:resource	<p>・コンテンツの種類を記入する。以下の語彙から選択して記入すること。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>- conference paper</td> <td>- dataset</td> <td>- research report</td> <td>- interactive resource</td> </tr> <tr> <td>- data paper</td> <td>- cartographic material</td> <td>- technical report</td> <td>- learning material</td> </tr> <tr> <td>- departmental bulletin paper</td> <td>- map</td> <td>- policy report</td> <td>- musical notation</td> </tr> <tr> <td>- editorial</td> <td>- image</td> <td>- report part</td> <td>- research proposal</td> </tr> <tr> <td>- journal article</td> <td>- still image</td> <td>- working paper</td> <td>- software</td> </tr> </tbody> </table>	- conference paper	- dataset	- research report	- interactive resource	- data paper	- cartographic material	- technical report	- learning material	- departmental bulletin paper	- map	- policy report	- musical notation	- editorial	- image	- report part	- research proposal	- journal article	- still image	- working paper	- software
- conference paper	- dataset	- research report	- interactive resource																			
- data paper	- cartographic material	- technical report	- learning material																			
- departmental bulletin paper	- map	- policy report	- musical notation																			
- editorial	- image	- report part	- research proposal																			
- journal article	- still image	- working paper	- software																			

		- article	- moving image	- sound	- technical documentation
		- book	- video	- thesis	- workflow
		- book part	- lecture	- bachelor thesis	- other
		- conference object	- patent	- master thesis	
		- conference poster	- report	- doctoral thesis	

•rdf:resource には各統制語彙の対応する COAR Resource Type (http://vocabularies.coar-repositories.org/documentation/resource_types/) の URI を記入すること。

○注意点

- departmental bulletin paper(紀要)及び article(記事)は、journal article(研究論文)の URI を記入する。
- learning material は、other(その他)の URI を記入する。

記入例

○研究論文の例

<coar:resourceType rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</coar:resourceType>

○紀要論文の例

<coar:resourceType rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departmental bulletin paper</coar:resourceType>

○博士論文の例

<coar:resourceType rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</coar:resourceType>

○データセットの例

<coar:resourceType rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1">dataset</coar:resourceType>

○記事の例

<coar:resourceType rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article</coar:resourceType>

非推奨例

○rdf:resource を省略してはならない。

<coar:resourceType>departmental bulletin paper</coar:resourceType>

要素	属性	説明
15 バージョン情報 ・定義: datacite:version ・記入レベル: 0 ・繰返回数: 0-1		<ul style="list-style-type: none"> データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。 “メジャーバージョン番号”、“マイナーバージョン番号”の形式で記入する。 ○注意点 <ul style="list-style-type: none"> データの場合のみ利用。 バージョンの変更がある場合は、記入することが望ましい。 論文のバージョン情報については 16. 出版タイプを利用すること。 個別ファイルのバージョン情報を記入する場合は 33.4 バージョン情報に記入すること。 メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成すること。その際には 19. 関連情報に旧バージョンとの関係性を記述すること。

記入例

<datacite:version>1.2</datacite:version>

非推奨例

○バージョンに番号以外の文字列を記入してはならない。

<datacite:version>ver 1.2</datacite:version>

要素	属性	説明
16 出版タイプ ・定義: openaire:versionType		論文のバージョン情報を記入する。 <ul style="list-style-type: none"> 以下の統制語彙を用いて記入すること。

・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1	- accepted	- draft	- updated
	- published	- submitted	

○注意点

- 論文の場合、必ず記入すること。
- データのバージョン情報については 15. バージョン情報を利用すること。

記入例
○著者最終稿(査読後、最終的に出版社に受理された原稿)の場合 <openaire:versionType>accepted</openaire:versionType>
○出版社版の場合 <openaire:versionType>published</openaire:versionType>

要素	属性	説明			
17 資源識別子 ・定義:datacite:identfier ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-N	identifierType	・コンテンツを識別するユニークな ID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する。 例:ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/54559 (URI) ○ <i>identifierType</i> は以下の統制語彙から選択する。 <table border="1" data-bbox="824 1046 1597 1114"> <tr> <td>- DOI</td> <td>- HDL</td> <td>- URI</td> </tr> </table> ○注意点 <ul style="list-style-type: none"> リポジトリコンテンツの自身の ID を記入すること。 学術雑誌論文の出版社版等の DOI は 19. 関連情報に記入する。 JaLC DOI を登録する場合は、18. JaLC DOI に登録する DOI を記入すること。 	- DOI	- HDL	- URI
- DOI	- HDL	- URI			

記入例

<datacite:identfier identifierType="HDL">hdl.handle.net/2115/64495</datacite:identfier>

要素	属性	説明				
18 ID 登録 ・定義: jpcoar:identifierRegistration ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1	identifierType	・JaLC 等へ ID 登録する場合、記入する。 ・ <i>identifierType</i> には登録するサービス(DOI の場合は Registration Agency)を以下の語彙から選択する。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td>- JaLC</td> <td>- Crossref</td> <td>- DataCite</td> <td>- PMID</td> </tr> </table> ○注意点 ・リポジトリコンテンツの自身の ID は 17. 資源識別子に記入すること。 ・“JaLC”を選択した場合、junii2 スキーマの selfDOI に相当する。	- JaLC	- Crossref	- DataCite	- PMID
- JaLC	- Crossref	- DataCite	- PMID			

記入例

<jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">10.18926/AMO/54590</jpcoar:identifierRegistration>

非推奨例

○URI スキーム”info:doi/”、“doi:”の使用は推奨しない。

<jpcoar:resourceIdentifier identifierType="JaLC">info:doi/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:resourceIdentifier>

○DOI の URL 表記は推奨しない。

<jpcoar:resourceIdentifier identifierType="JaLC">https://doi.org/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:resourceIdentifier>

要素	属性	説明
19 関連情報 ・定義:jpcoar:relation ・記入レベル:R	relationType	・登録するコンテンツと関連を持つコンテンツ間の関連性。 ・関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する。 例:10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2 (DOI) ・ <i>relationType</i> は以下の統制語彙から選択する。

<p>・繰返回数:0-N</p>		<table border="1"> <tr> <td>- isVersionOf</td> <td>- isFormatOf</td> <td>- isSupplementTo</td> </tr> <tr> <td>- hasVersion</td> <td>- hasFormat</td> <td>- isSupplementedBy</td> </tr> <tr> <td>- isPartOf</td> <td>- isReplacedBy</td> <td>- isIdenticalTo</td> </tr> <tr> <td>- hasPart</td> <td>- replaces</td> <td>- isDerivedFrom</td> </tr> <tr> <td>- IsReferencedBy</td> <td>- isRequiredBy</td> <td>- isSourceOf</td> </tr> <tr> <td>- references</td> <td>- requires</td> <td></td> </tr> </table> <p>・該当する語彙がない場合は <i>relationType</i> を記入しない。</p>	- isVersionOf	- isFormatOf	- isSupplementTo	- hasVersion	- hasFormat	- isSupplementedBy	- isPartOf	- isReplacedBy	- isIdenticalTo	- hasPart	- replaces	- isDerivedFrom	- IsReferencedBy	- isRequiredBy	- isSourceOf	- references	- requires	
- isVersionOf	- isFormatOf	- isSupplementTo																		
- hasVersion	- hasFormat	- isSupplementedBy																		
- isPartOf	- isReplacedBy	- isIdenticalTo																		
- hasPart	- replaces	- isDerivedFrom																		
- IsReferencedBy	- isRequiredBy	- isSourceOf																		
- references	- requires																			
<p>19.1 関連識別子</p> <p>・定義: jpcoar:relatedIdentifier</p> <p>・記入レベル:R</p> <p>・繰返回数:0-1</p>	<p>relatedIdentifierType</p>	<p>・<i>relatedIdentifierType</i> は以下の統制語彙から選択する。</p> <table border="1"> <tr> <td>- ARK</td> <td>- ISBN</td> <td>- PMID</td> </tr> <tr> <td>- arXiv</td> <td>- Local</td> <td>- PURL</td> </tr> <tr> <td>- DOI</td> <td>- PISSN</td> <td>- URI</td> </tr> <tr> <td>- HDL</td> <td>- EISSN</td> <td>- WOS</td> </tr> <tr> <td>- ICHUSHI</td> <td>- NAID</td> <td></td> </tr> </table> <p>○注意点</p> <p>・識別子が存在しない場合は 19.2 関連名称を記入する。</p>	- ARK	- ISBN	- PMID	- arXiv	- Local	- PURL	- DOI	- PISSN	- URI	- HDL	- EISSN	- WOS	- ICHUSHI	- NAID				
- ARK	- ISBN	- PMID																		
- arXiv	- Local	- PURL																		
- DOI	- PISSN	- URI																		
- HDL	- EISSN	- WOS																		
- ICHUSHI	- NAID																			
<p>19.2 関連名称</p> <p>・定義:jpcoar:relatedTitle</p> <p>・記入レベル:R</p> <p>・繰返回数:0-1</p>	<p>xml:lang</p>	<p>・関連するコンテンツのタイトルを記入する。</p> <p>・タイトルの言語情報は <i>lang</i> に指定すること。</p> <p>○注意点</p> <p>・対象に識別子が存在する場合は 19.1 関連識別子に記入する。</p> <p>・該当する識別子が存在しない場合にのみ記入すること。</p>																		

記入例
<p>○学術雑誌出版社版へのリンクの例</p> <pre><jpcoar:relation relationType="isVersionOf"> <jpcoar:relatedIdentifier relatedIdentifierType="DOI">10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation></pre> <p>○リンク先のコンテンツに識別子がない場合</p> <pre><jpcoar:relation relatedIdentifierType="isPartOf"> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中・高・大、日本人院生、外国人院生のティームティーチングによる支援：実施とその評価 </jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation></pre>

要素	属性	説明
20 時間的範囲 ・定義:dcterms:temporal ・記入レベル:O ・繰返回数:0-N	xml:lang	・コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。 ・所定のスキーマに従って記入することが望ましい。

記入例
<pre><dcterms:temporal xml:lang="ja">奈良時代</dcterms:temporal> <dcterms:temporal xml:lang="en">A.D. 1800 - A.D. 1850</dcterms:temporal></pre>

要素	属性	説明
21 位置情報		・コンテンツを収集した、またはコンテンツが焦点を当てている空間的情報を記入する。

<ul style="list-style-type: none"> ・定義: datacite:geolocation ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-N 		<ul style="list-style-type: none"> ○注意点 ・データについて記述する時のみ利用する。
<p>21.1 位置情報(点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: datacite:geolocationPoint ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツが示す空間の一点を記入する。
<p>21.1.1 緯度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: datacite:pointLatitude ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・緯度の値。10進数で表す。 ・範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。 ○注意点 ・<i>datacite:geolocationPoint</i> を利用する場合必須。
<p>21.1.2 経度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: datacite:pointLongitude ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・経度の値。10進数で表す。 ・範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。 ○注意点 ・<i>datacite:geolocationPoint</i> を利用する場合必須。
<p>21.2 位置情報(平面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: datacite:geoLocationBox 		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツが指すボックス上の空間的範囲を記入する。

<ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 		
<p>21.2.1 西部経度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: <p>datacite:westBoundLongitude</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・西部経度の値。10 進数で表す。 ・範囲は-180～180 で、正の値は東部を表す。 ○注意点 ・ <i>datacite:geoLocationBox</i> を利用する場合必須。
<p>21.2.2 東部経度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: <p>datacite:eastBoundLongitude</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・東部経度の値。10 進数で表す。 ・範囲は-180～180 で、正の値は東部を表す。 ○注意点 ・ <i>datacite:geoLocationBox</i> を利用する場合必須。
<p>21.2.3 南部緯度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: <p>datacite:southBoundLatitude</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・南部緯度の値。10 進数で表す。 ・範囲は-90～90 で、正の値は北部を表す。 ○注意点 ・ <i>datacite:geoLocationBox</i> を利用する場合必須。
<p>21.2.4 北部緯度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: <p>datacite:northBoundLatitude</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:0 ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・北部緯度の値。10 進数で表す。 ・ 範囲は-90～90 で、正の値は北部を表す。 ○注意点 ・ <i>datacite:geoLocationBox</i> を利用する場合必須。

<p>21.3 位置情報地名</p> <p>・定義: datacite:geoLocationPlace</p> <p>・記入レベル:0</p> <p>・繰返回数:0-1</p>	<p>xml:lang</p>	<p>・コンテンツが指す地理上の地点の名称を記入する。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------	---------------------------------

記入例
<pre> <datacite:geolocation> <datacite:geolocationBox> <datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geolocationBox> </datacite:geolocation> <datacite:geolocation> <datacite:geolocationPlace xml:lang="en">Disko Bay</datacite:geolocationPlace> </datacite:geolocation> </pre>

要素	属性	説明
<p>22 助成情報</p> <p>・定義:</p>		<p>・コンテンツ作成の際に利用した助成金情報を記入する。</p> <p>・研究助成を受けた場合は、記入すること。</p>

<p>datacite:fundingReference</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:MA ・繰回数:0-N 						
<p>22.1 助成機関識別子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: <p>datacite:funderIdentifier</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:MA ・繰回数:0-1 	<p>funderIdentifierType</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助成主体の永続的な識別子を HTTP URI 形式で記入する。 ・<i>funderIdentifierType</i> は以下の語彙から選択する。 <table border="1" data-bbox="875 424 1865 504"> <tr> <td>- Crossref Funder</td> <td>- GRID</td> <td>- ISNI</td> <td>- other</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○注意点 ・<i>datacite:fundingReference</i> を記入する場合、必須。 ・Crossref Funder ID の利用を推奨する。Crossref Funder ID がない場合に限り、その他の識別子を記入すること。 	- Crossref Funder	- GRID	- ISNI	- other
- Crossref Funder	- GRID	- ISNI	- other			
<p>22.2 助成機関名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: <p>datacite:funderName</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:MA ・繰回数:0-1 	<p>xml:lang</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助成機関等、助成を行った主体の名称を記入する。 ・組織階層がある場合は上位から下位の順に記入する。本文が日本語ならば <i>lang</i> に“ja”を指定して日本語表記、欧文ならば <i>lang</i> に“en”を指定してアルファベット表記とする。 ○注意点 ・<i>datacite:fundingReference</i> を記入する場合、必須。 ・略称ではなく、正式名称を記入すること。 				
<p>22.3 研究課題番号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義: <p>datacite:awardNumber</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入レベル:MA ・繰回数:0-1 	<p>awardURI</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助成番号を文字列で記入する。科研費の課題番号、他の助成事業の統一謝辞コードもここへ記入する。 ・記述方法は助成団体による。 例: 15H02781 (科研費の場合) ・<i>awardURI</i> は、助成団体が提供している助成に関する詳細情報を HTTP URI 形式で記入する。科研費の場合は、KAKEN データベースの該当するページの URL を記入する。 				
<p>22.4 研究課題名</p>	<p>xml:lang</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題名を文字列で記入する。 				

<ul style="list-style-type: none"> ・定義: datacite:awardTitle ・記入レベル: MA ・繰返回数: 0-1 		
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

記入例
<pre> <datacite:fundingReference> <datacite:funderIdentifier funderIdentifierType =“Crossref Funder”>http://doi.org/10.13039/501100000780</datacite:funderIdentifier> <datacite:funderName xml:lang=“en”>European Commission</datacite:funderName> <datacite:awardNumber awardURI=“http://cordis.europa.eu/project/rcn/100603_en.html”>284382</datacite:awardNumber> <datacite:awardTitle xml:lang=“en”> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </datacite:awardTitle> </datacite:fundingReference> </pre>

要素	属性	説明			
23 雑誌識別子 <ul style="list-style-type: none"> ・定義: bibo:identifier ・記入レベル: MA ・繰返回数: 0-N 	identifierType	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載誌に付与された識別子を記入する。記述方法は選択した識別子に依存する。 ・<i>identifierType</i> は以下の語彙から選択する。 <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">- PISSN</td> <td style="text-align: center;">- EISSN</td> <td style="text-align: center;">- NCID</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○注意点 ・ISSN、NCID がある場合はかならず記入すること。 	- PISSN	- EISSN	- NCID
- PISSN	- EISSN	- NCID			

要素	属性	説明
----	----	----

<p>24 雑誌名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:bibo:journal ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-N 	<p>xml:lang</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの掲載誌のタイトルを記入する。 ・本文が日本語ならば lang に”ja”を指定して日本語表記、欧文ならば lang に”en”を指定して英語表記を基本とする。 ○注意点 ・日本語雑誌名で和文、欧文コンテンツが混在する場合は、本文の言語に応じて雑誌名を表記することが望ましい。 ・タイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入すること。ただし、各言語コードの title の出現回数は 1 回までとする。言語表記ごとの繰り返しにする場合は、優先度の高い言語表記の順に記入すること。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

要素	属性	説明
<p>25 巻</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:bibo:volume ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・掲載誌の巻レベルを記入する。 ・単位を表す語句(「巻」,「vol」,「号」,「年」など)は記入しない。 ・巻号と通号の両者が存在する場合は、巻号を採用する。 ○注意点 ・号のみをもつ場合は、巻レベルとし、<i>bibo:volume</i> に記入する。 ・アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。

要素	属性	説明
<p>26 号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:bibo:issue ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・掲載誌の号レベルを記入する。 ・単位を表す語句(「号」,「issue」など)は削除する。 ○注意点 ・号のみをもつ場合は、巻レベルとし、<i>bibo:volume</i> に記入する。 ・アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。

		・号レベルより下位のレベルが存在する場合でも(例えば volume3, issue2, part1 等の場合)、その下位レベルについては記入しない。
--	--	----------------------------------------------------------------------------

要素	属性	説明
27 開始ページ ・定義:bibo:pageStart ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの掲載誌中における開始ページを記入する。 ・開始ページと終了ページが同じ場合は、<i>bibo:pageEnd</i>にも同様の値を記入する。 ・巻(volume)の通ページと、号(issue)ごとのページの両方が存在する場合は、巻(volume)の通ページを記入する。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。 ・オンラインジャーナルのみの出版等でページ数が存在せず、文献番号で表現されている場合は文献番号を記入する。なお、この場合 <i>bibo:pageEnd</i>は空白でよい。

要素	属性	説明
28 終了ページ ・定義:bibo:pageEnd ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの掲載誌中における終了ページを記入する。 ・開始ページと終了ページが同じ場合は、<i>bibo:pageStart</i>と同様の値を記入する。 ・巻(volume)の通ページと、号(issue)ごとのページの両方が存在する場合は、巻(volume)の通ページを記入する。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。 ・オンラインジャーナルのみの出版等でページ数が存在せず、文献番号で表現されている場合は文献番号を記入する。なお、この場合 <i>bibo:pageEnd</i>は空白でよい。

記入例
<pre> <bibo:identifier identifierType="PISSN">1234-5678</bibo:identifier> <bibo:identifier identifierType="NCID">AN12345678</bibo:identifier> <bibo:journal xml:lang="ja">看護総合科学研究会誌</bibo:journal> <bibo:journal xml:lang="en">Journal of Comprehensive Nursing Research</bibo:journal> <bibo:volume>1</bibo:volume> <bibo:issue>1</bibo:issue> <bibo:pageStart>1</bibo:pageStart> <bibo:pageEnd>12</bibo:pageEnd> </pre>
非推奨例
<p>○誌名の略称は推奨しない</p> <pre> <bibo:journal xml:lang="en">Annu Rev Biochem</bibo:journal> </pre>

要素	属性	説明
29 学位授与番号 ・定義: jpcoar:dissertationNumber ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1		・学位授与番号を記入する。 ○注意点 ・学位規則改正(平成 25 年 4 月 1 日)以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。 ・学位記番号ではなく報告番号を記入すること。

要素	属性	説明
30 学位名	xml:lang	・学位規則で定められている学位の種別と学位の分野を記入する。 ○注意点

<ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:degreeName ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-N 		<ul style="list-style-type: none"> ・学位規則改正(平成 25 年 4 月 1 日)以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。 ・国際流通を鑑み、英語名称を合わせて記入することを推奨する。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

要素	属性	説明
31 学位授与年月日 <ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:dateGranted ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・学位授与年月日を記入する。 ○注意点 <ul style="list-style-type: none"> ・学位規則改正(平成 25 年 4 月 1 日)以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。

要素	属性	説明
32 学位授与機関 <ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:degreeGrantor ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-N 		<ul style="list-style-type: none"> ・学位授与機関の情報を記入する。 ○注意点 <ul style="list-style-type: none"> ・学位規則改正(平成 25 年 4 月 1 日)以降に授与された博士論文を登録する場合は、学位授与機関の科研費機関番号の記入が必須。 ・共同大学院の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰返すこと。
32.1 学位授与機関識別子 <ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:nameIdentifier ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-N 	nameIdentifierScheme	<ul style="list-style-type: none"> ・学位授与機関を一意に識別する ID を記入する。 ・<i>nameIdentifierScheme</i> には科研費機関コード(kakenhi)を記入する。 ○注意点 <ul style="list-style-type: none"> ・<i>jpcoar:nameIdentifier</i> を記入する場合、必ず <i>nameIdentifierScheme</i> にスキーマ名を指定すること。

<p>32.2 学位授与機関名</p> <p>・定義:</p> <p>jpcoar:degreeGrantorName</p> <p>・記入レベル: MA</p> <p>・繰返回数: 0-N</p>	<p>xml:lang</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学位授与機関の名称を記入する。 ・組織階層がある場合は上位から下位の順に記入する。本文が日本語ならば lang に“ja”を指定して日本語表記、欧文ならば lang に“en”を指定してアルファベット表記とする。 ○注意点 ・学位規則改正(平成 25 年 4 月 1 日)以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。 ・略称ではなく、正式名称を記入すること。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

記入例
<pre> <jpcoar:dissertationNumber>甲第 5384 号</jpcoar:dissertationNumber> <jpcoar:degreeName xml:lang="ja">博士(文学)</jpcoar:degreeName> <jpcoar:dateGranted>2016-03-25</jpcoar:dateGranted> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学</jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> ○共同大学院の場合は jpcoar:degreeGrantor を繰り返す。籍のある大学を最初に記入すること。 <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameIdentifier> </pre>

<pre> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> </pre>
非推奨例
<p>○科研費機関番号(数字 5 桁)[甲>A 乙>B 他>Z]報告番号の形式(junii2 ver 3.0)は推奨しない。</p> <pre> <dissertationNumber>15301A5384</dissertationNumber> </pre> <p>○科研費機関番号(数字 5 桁)+報告番号の形式(junii2 ver 3.1)は推奨しない。</p> <pre> <dissertationNumber>153015384</dissertationNumber> </pre> <p>○共同大学院をひとつの degreeGrantor に記入することは推奨しない。</p> <pre> <degreeGrantor> <nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653・32689</nameIdentifier> <degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学・早稲田大学</degreeGrantorName> </degreeGrantor> </pre>

要素	属性	説明
33 ファイル情報		コンテンツ本体に関する情報。
<ul style="list-style-type: none"> ・定義: jpcoar:file ・記入レベル: MA ・繰返回数: 0-N 		

<p>33.1 本文 URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:URI ・記入レベル:MA ・繰返回数:0-1 	<p>objectType</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ本体ファイルの URI を記入する。 ・objectType は以下の統制語彙を記入する。 <table border="1" data-bbox="815 272 1541 354"> <tr> <td>- abstract</td> <td>- summary</td> <td>- fulltext</td> <td>- other</td> </tr> </table>	- abstract	- summary	- fulltext	- other
- abstract	- summary	- fulltext	- other			
	<p>label</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・label はファイル名がある場合、記入する。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・objectType は URI がある場合は必須。 				
<p>33.2 フォーマット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:mimeType ・記入レベル:R ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツのファイル形式を記入する。 ・IANA に登録されている MIME メディアタイプから選択することを推奨する。 <p>○注意点</p> <p>コンテンツの種類については 14. 資源タイプを利用する。</p> <p>コンテンツの分量について、33.3. サイズを利用する。</p>				
<p>33.3 サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:extent ・記入レベル:O ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルサイズ、分量等の情報を記入する。 ・自由記述。但し数値はアラビア数字を半角で記入すること。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文の開始ページは <i>bibo:pageStart</i>、終了ページは <i>bibo:pageEnd</i> を利用すること 				
<p>33.4 バージョン情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義:jpcoar:version ・記入レベル:O ・繰返回数:0-1 		<ul style="list-style-type: none"> ・データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。 ・“メジャーバージョン番号”・“マイナーバージョン番号”の形式で記入する。 <p>○注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの場合のみ利用。 ・バージョンの変更がある場合は、記入することが望ましい。 ・論文のバージョン情報については 16. 出版タイプを利用すること。 				

		<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル全体のバージョンを記入する場合は“15. バージョン情報を利用すること。 ・メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成すること。その際には 19. 関連情報に旧バージョンとの関係性を記述すること。
--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

記入例
<pre> <jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar:files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <jpcoar:extent>15 pages</jpcoar:extent> </jpcoar:file> <jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="other" label="supplimental data">http://xxx.xxx.xxx.xxx/xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <jpcoar:version>1.2</jpcoar:version> </jpcoar:file> </pre>
非推奨例
<p>MIME メディアタイプ以外の形式で記入する。</p> <pre> <jpcoar:mimeType>pdf</jpcoar:mimeType> </pre>

記入レベルは以下の通りとする。

M : 必須 MA : あれば必須 R : 推奨 O : オプション D : 非推奨

付属書

語彙別表

項目名称	項目名称(日本語)	語彙	注記
Creator Name Identifier	作成者識別子	e-Rad ORCID ISNI VIAF	
Creator. Affiliation Name Identifier	所属機関識別子(作成者)	kakenhi ISNI Ringgold GRID	
Contributor	寄与者	ContactPerson DataCollector DataCurator DataManager Distributor Editor HostingInstitution Producer ProjectLeader ProjectManager ProjectMember RegistrationAgency RegistrationAuthority RelatedPerson Researcher ResearchGroup Sponsor Supervisor WorkPackageLeader other	

項目名称	項目名称(日本語)	語彙	注記
Contributor. Affiliation Name Identifier	所属機関識別子(寄与者)	kakenhi ISNI Ringgold GRID	
Access Level	アクセスレベル	closedAccess embargoedAccess restrictedAccess openAccess	
APC	APC	Paid Partially waived Fully waived Not charged Not required Unknown	
Rights Holder	権利者情報	e-Rad ORCID ISNI VIAF	
Subject	主題	BSH DDC LCC LCSH MeSH NDC NDLC NDLSH UDC other	
Description	内容記述	abstract methods tableOfContents technicalInfo other	

項目名称	項目名称(日本語)	語彙	注記
Date	日付	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	
Resource Type	資源タイプ	資源タイプ語彙別表参照	
Publication Type	出版タイプ	accepted published draft submitted updated	
Resource Identifier	資源識別子	DOI HDL URI	DOI - Digital Object Identifier HDL - Handle URI - Uniform Resource Identifier
URI	本文 URL	abstract fulltext summary other	

項目名称	項目名称(日本語)	語彙	注記
Relation	関連	isVersionOf hasVersion isPartOf hasPart IsReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf	
Related Identifier	関連識別子	ARK arXiv DOI HDL ICHUSHI ISBN Local PISSN EISSN NAID PMID PURL URI WOS	ARK - Archival Resource Key arXiv - arXiv.org identifier DOI - Digital Object Identifier HDL - Handle ICHUSHI - Igaku Chuo Zasshi Article Identifier ISBN - International Standard Book Number Local - Local System Identifier PISSN - International Standard Serial Number (print version) EISSN - International Standard Serial Number (electronic version) NAID - National Institute of Informatics Article Identifier PMID - PubMed ID PURL - Persistent Uniform Resource Locator URI - Uniform Resource Identifier WOS - Web of Science accession number

項目名称	項目名称(日本語)	語彙	注記
Funder Identifier	助成機関識別子	ISNI GRID Crossref Funder other	
Journal Identifier	雑誌識別子	PISSN EISSN NCID	PISSN - International Standard Serial Number (print version) EISSN - International Standard Serial Number (electronic version) NCID - National Institute of Informatics Catalog ID
Repository Profile Identifier	リポジトリプロフィール識別子	irdb openaire	
Institution Code	機関コード	kakenhi	
Identifier Type	ID 種別	JaLC Crossref DataCite PMID	

資源タイプ語彙別表

メタデータセット	語彙	語彙(日本語)	定義
Article	conference paper	会議発表論文	会議に提出され、参加者に発表された論文で、会議録に掲載される。
	data paper	データ論文	特定のデータセットやデータセットグループについて記述され、学術雑誌における査読論文の形式で出版されるもの。データ自体に関する記述、収集状況、データの特徴に関する情報、データへのアクセスや再利用の可能性に関して主に記述する。
	departmental bulletin paper	紀要論文	紀要類に掲載された論文。表紙や目次は Other とする。国際的に流通する際は「Journal Article」として出力される。
	editorial	エディトリアル	学術雑誌の編集長によって記述された、政治的、社会的、文化的、専門的な問題に関する見解を示したエッセイ。
	journal article	研究論文	学術雑誌に掲載された論文。
	article	記事	上記には含まれない、学術論文以外の記事。国際的に流通する際は「Journal Article」として出力される。
Book	book	図書	1巻またはセットで完結する逐次性のない出版物で、原則 ISBN で識別される。
	book part	図書(部分)	図書の章または一節で、通常は見出しまたは番号で区別される。
Cartographic Material	cartographic material	地図資料	地球全体または一部、あるいは天体を任意のスケールで表現したもの。地図資料には、航空図、航海図、天体図、地図帳、地球儀、ブロックダイアグラム、地区、空中写真、鳥瞰図などの2次元及び3次元の地図と図面(想像上の場所の地図を含む)が含まれる。
	map	地図	地球または別の天体の地表に関連する物質や特徴を抜粋し、平面に縮小したもの。
Conference Object	conference object	会議発表資料	会議で発表された、プレゼンテーション資料、会議報告、講義資料、抄録、デモンストレーションなどの電子的な資料全般。会議発表論文や会議発表ポスターは、この語彙ではなく、当該語彙を使用する。
	conference poster	会議発表ポスター	会議に提出され、ポスター発表に用いられたポスターで、会議録に掲載される。
Dataset	dataset	データセット	関連するファクトデータを集めたもの。数値形式で表現され、構造化されているものが多い。
Image	image	イメージ <COAR Resource Type の日本語名称を「画像」から「イメージ」へ改訂予定>	画像や映像を含む、文字以外で視覚的に表現されたもの。

メタデータセット	語彙	語彙(日本語)	定義
	still image	静止画	静的に記録された画像で、ダイアグラム、図面、グラフ、グラフィックデザイン、図面、地図、写真、印画を含む。
	moving image	動画	コンピュータプログラムによって動的に生成されたり、事前に記録された静止画像の連続表示によって表現された動的な映像。アニメーション、映画フィルム、ビデオ、コンピュータシミュレーションを含み、動画の表現として映像と一体となったサウンドトラックを含む場合もある。
	video	録画資料	テレビまたは電子機器を介して再生されるように設計されている、何らかの動きと音楽を伴う視覚的な画像の記録資料。
Lecture	lecture	講演	就任記念講演などの学術的なイベントにおいて用いられた講演資料およびプレゼンテーション資料。会議で用いられた講演資料は含まない。
Patent	patent	特許	特許または特許出願書類。
Report	report	報告書	研究成果、進行中の研究内容、その他の技術的知見を個別に公表したもの。通常は報告書番号が付与され、報告書によっては助成機関によって割り当てられた助成番号が付与されるものもある。通常は何らかの上位機関に自主的あるいは強制的に保管・提出される、公開・非公開の委員会または法人組織の公式な活動記録、政府機関の会議録、調査報告を含む。より一般的には、特定の出来事に関連する事実や情報を正式に記録したものであり、定期的に提供される場合もある。
	research report	研究報告書	特定のトピックに関する詳細な研究や、ある研究プロジェクトでの結果が記述された報告書。
	technical report	テクニカルレポート	技術的・科学的研究および研究課題のプロセス、進捗状況や結果を記述した文書。研究勧告や研究結果が含まれる場合もある。
	policy report	ポリシーレポート	主要なポリシーの策定やイベントの詳細が記載された報告書。
	report part	報告書(部分)	報告書の一部。
	working paper	ワーキングペーパー	編集上の改善提案や情報提供を受けるため、少人数のグループで私的に閲覧される未発表の論文。
Sound	sound	音声・音楽 ＜COAR Resource Type の日本語名称を「音声」から「音声・音楽」へ改訂予定＞	音楽再生ファイルフォーマット、オーディオコンパクトディスク、録音されたスピーチや音楽などの聴覚的な資料。

メタデータセット	語彙	語彙(日本語)	定義
Thesis	thesis	学位論文	研究と知見を表現することにより、学位または専門資格の候補者であることを示すために提出された文書。
	bachelor thesis	学士論文	学士号の取得につながる学部・学科教育の一環として実施された、研究プロジェクトを報告する論文。
	master thesis	修士論文	修士号の取得につながる大学院教育の一環として実施された、研究プロジェクトを報告する論文。
	doctoral thesis	博士論文	博士課程期間中に行われた研究を報告する論文。
Multiple	interactive resource	インタラクティブリソース	ユーザーの理解、実行、経験を促すために、ユーザーとの相互作用を必要とするリソース。Web ページ、アプリケーション、マルチメディア学習資料、チャットサービス、バーチャルリアリティ環境など。
	learning material	教材	授業等で用いられる資料。国際的に流通する際は「Other」として出力される。
	musical notation	楽譜	伝統的または現代の演奏記号によって記述され、聴覚的に認識される音楽を視覚的に表現したもの。
	research proposal	研究計画書	助成金の申請に用いる文書。データ管理計画書も含む。
	software	ソフトウェア	ソースコード(テキスト)またはコンパイルされた形式のコンピュータプログラム。
	technical documentation	技術文書	開発中または使用中の工業製品について、取扱いや機能及び構造を記述した文書全般。
	workflow	ワークフロー	特定のジョブを実行する際に自動または確実に実行される一連の手順を記録したもの。複数の生物情報科学のデータベースから情報を抽出して処理する in silico 調査など。
	other	その他	上記で明示的に取り上げられていない、その他全ての概念をカバーするもの。紀要等の表紙や目次を含む。

メタデータセット	語彙	語彙(日本語)	定義
-	preprint	プレプリント	<COAR の語彙から削除されたため、既存の「Preprint」に該当するレコードは versionType="submitted"として扱い、resourceType としては他の適切な語彙を再設定する。>
	text	テキスト	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	periodical	逐次刊行物	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	annotation	注釈	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	journal	学術雑誌	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	contribution to journal	学術雑誌掲載記事	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	research article	原著論文	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	review article	レビュー論文	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	letter to the editor	来信	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	bibliography	書誌	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	review	レビュー	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	book review	書評	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	conference proceedings	会議録	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	conference paper not in proceedings	会議発表論文(会議録未掲載)	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	conference poster not in proceedings	会議発表ポスター(会議録未掲載)	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	letter	短報	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	internal report	内部報告書	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	memorandum	メモランダム	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	other type of report	その他の報告書	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
	project deliverable	プロジェクト報告書	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>
report to funding agency	助成研究成果報告書	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>	
website	ウェブサイト	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>	
musical composition	音楽	<現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用>	